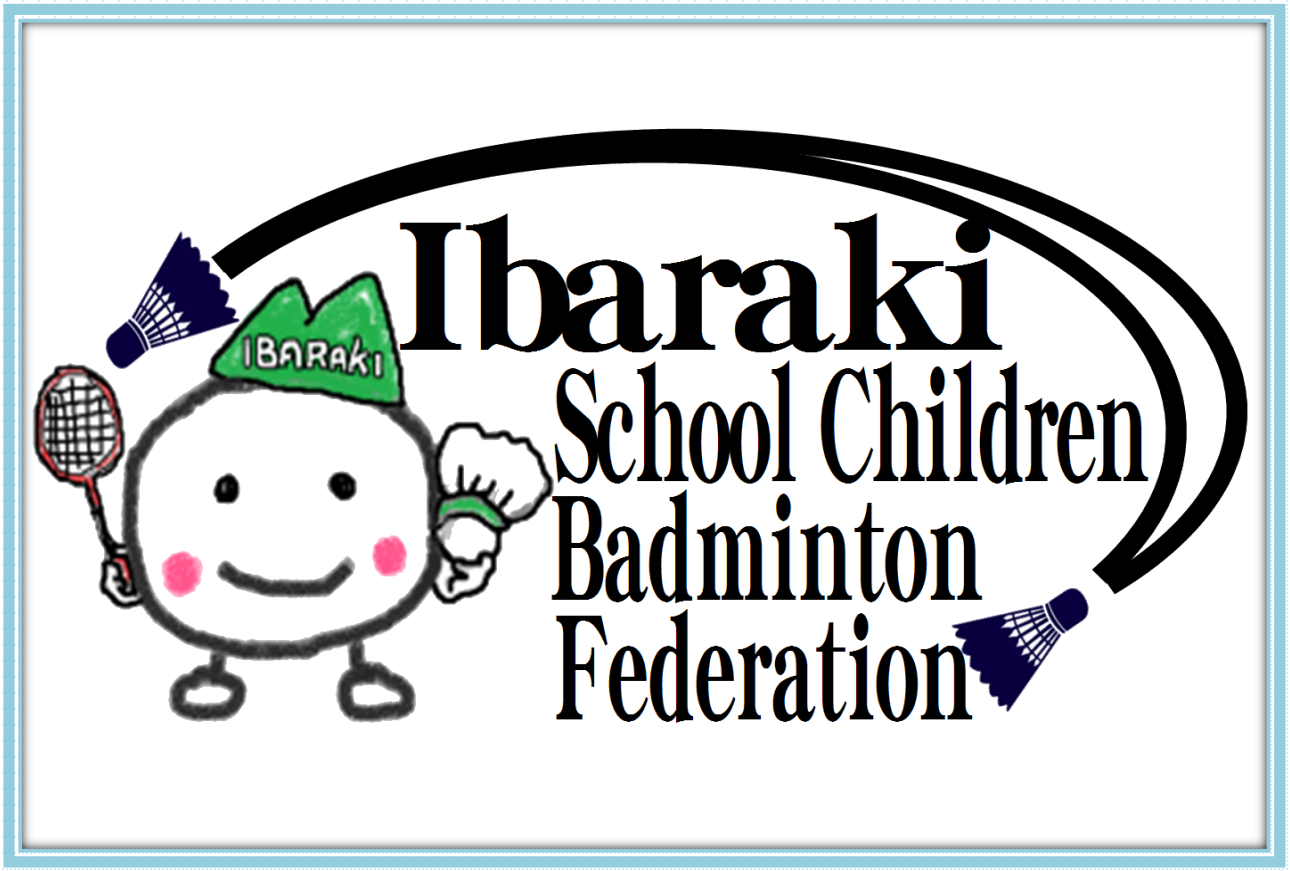
第23回
関東小学生オープンバドミントン大会



主　催: 関東バドミントン連盟　　関東小学生バドミントン連盟
主　管: 茨城県バドミントン協会　　茨城県小学生バドミントン連盟
後　援: 日本小学生バドミントン連盟　（公財）茨城県スポーツ協会　水戸市
協　賛: ヨネックス株式会社 ミズノ株式会社　株式会社ゴーセン
茨城トヨペット株式会社 パナソニックホームズ株式会社茨城支社
株式会社VICTOR　SPORTS 有限会社ラケットショップ　スウィング
期　日: 2022.11/12.13
会　場: リリーアリーナMITO（青柳公園市民体育館）
茨城県水戸市水府町864-6　TEL. 029-225-6931

第２３回関東小学生オープンバドミントン大会

目　　次

あいさつ	関東バドミントン連盟	会長　加藤　寛治	2
	関東小学生バドミントン連盟	会長　増田　英男	3
	茨城県小学生バドミントン連盟	会長　松下　高輝	4

大会開催要項　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・5

大 会 役 員　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 7

競　技　役　員　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・8

競技・審判上の注意　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・9

式　次　第　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１２

タイムテーブル　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１３

男子団体対戦表(予選リーグ、順位リーグ)　・・・・・・・・・・・・・１５

女子団体対戦表(予選リーグ、順位リーグ)　・・・・・・・・・・・・・１７

男子選手名簿（BT-1・２）　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１９

女子選手名簿（GT-1・２）　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・２１

栄光の記録　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・２３

会場案内図　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・２８

あ　い　さ　つ

関東バドミントン連盟

会　長　加藤　寛治

第２３回関東小学生オープンバドミントン大会が、関東１都７県からの選手が集い、ここ水戸市のリリーアリーナ（青柳公園市民体育館）において、盛大に開催されますことは、まことに喜ばしい限りであります。

この大会は、「関東から世界に羽ばたく選手の育成」ということを合言葉に、できるだけ若いうちから優秀な選手を見出し、世界を舞台に戦える選手を育てようという目的で開催されてきた大会であります。２００１年に第１回大会が埼玉県で開催されてから２０数年が経過しました。その成果には目を見張るものがあります。過去にこの大会に出場された皆さんの先輩から、数多くの日本を代表する選手が巣立っております。

ご承知の通り、日本のバドミントン選手たちが、世界ランキングの上位を占めて、オリンピックや世界選手権で活躍し、大きな成果を上げております。

本大会に参加された選手の皆さんは、このことを念頭に置き、勝利に向かって、日頃の練習の成果を十分に発揮され、悔いのない大会にして下さい。また、この大会の経験を生かし、目標を高く持ち、世界に向かって日々練習に励み、よりいっそうの飛躍を期待しております。

選抜されてこられた選手同士の試合は、白熱した試合になるでしょう。しかし、コートを離れれば、バドミントンの好きな同じ小学生です、交流し友情を深め、将来の夢を語り合い、この水戸市の大会で、小学生時代の素晴らしい思い出を作ってください。

終わりに、子供たちを育てる保護者および指導者の皆様に、心から敬意を表すとともに、本大会の開催にあたり、格別のご配慮、ご尽力を頂きました、茨城県バドミントン協会はじめ関係各位に、心から感謝の意を表しますとともに、大会のご成功を祈念してあいさつと致します。

あ　い　さ　つ

関東小学生バドミントン連盟

会　長　増　田　英　男

第２３回関東小学生オープンバドミントン大会に関東１都７県と、
北海道、新潟県、静岡県、愛知県の代表選手を加えた約１５０名を超える選手、関係者の皆さんんを心から歓迎します。
この大会は「関東から世界に羽ばたく選手育成」を合言葉に関東小学生バドミントン連盟創立以来２３回目を迎える大会です。

本大会が関東の選手関係者にとって、オープン参加された北海道・新潟県・静岡県・愛知県の皆さんとも競い合い、お互いに技量を高めると共に、友好を深められることは１２月に石川県金沢市で開催される第３１回全国小学生バドミントン大会都道府県対抗団体戦に向けて極めて意義のある大会と位置付けています。

選手の皆さんにはコロナ禍の中、十分な練習が出来なかった事と思いますがチーム一丸となって日頃の練習の成果を発揮され、全国大会に向けさらなるチーム力の向上に向けて成長し、全国大会での活躍を楽しみにしています。

関東小学生バドミントン連盟では、各都県のご理解とご協力をいただき１２年前から関東ジュニアアカデミーを開催し(新型コロナ禍により三年間は休止)関東各都県の選手強化に取り組んできました。こうした各都県での選手強化への積極的な取り組みも図られ、都県の壁を越えての交流行事等も開催され、年々レベル向上が図られています。

昨年福島県で開催された第３０回大会都道府県対抗団体戦男子の部で、
埼玉県がベスト４，東京都・栃木県・神奈川県がベスト８，
女子の部では東京都が準優勝、茨城県がベスト４、神奈川県がベスト８と
見事な成績を挙げてくれまた。

各都道県の代表として参加の選手、監督、コーチ、保護者の皆さん
主催者が大会開催にあたり健康管理等、新型コロナ感染症予防対策を遵守し
協力していただく事を強くお願いします！

終わりに、本大会の開催に当たり、ご支援・ご協力をいただきます茨城県バドミントン協会、茨城県小学生バドミントン連盟をはじめ、関係者の皆さんに心から感謝申し上げあいさつとします。

歓迎のことば

茨城県小学生バドミントン連盟

会長　松 下　高 輝

関東１都７県及びゲストチームとして参加される北海道及び新潟、愛知、静岡の各県の選手・役員の皆様をお迎えして第２３回関東小学生オープンバドミントン大会を本県の中心都市であるここ水戸市で開催できますことはまことに喜ばしく、地元を代表して心より歓迎いたします。

さて、小学生にとって一番の目標となる全国小学生バドミントン選手権大会に向けて、同大会の都道府県対抗と同じ試合形式で行うこの大会は、その前哨戦と位置づけられる有意義なものであるとともに、過去２２回の大会参加者の中から全国、そして世界に羽ばたいていった選手が多数おります。

参加２４チームの選手の皆さんは、各都道県の代表として選ばれたことに誇りを持つとともに、これまでご指導いただいた指導者、関係者の皆様や、愛情を持って支えていただいたご家族の皆様に感謝の気持ちを忘れずに、日頃培ってきたパワーとテクニックを駆使した若さあふれるプレーを見せていただきたいと思っております。

また、会場となるここ水戸市には、日本三大名園の一つ偕楽園や旧水戸藩の藩校である弘道館があり、隣接するひたちなか市には四季折々の花々が楽しめるひたち海浜公園をはじめとする自然豊かな空間が、多くの観光客を引きつけております。

この大会を通じて、バドミントン競技を極めんとする仲間と一層の交流を深めていただくとともに、本県の魅力にもふれていただければ幸いであります。

結びに、本大会を開催するにあたりご指導いただいた、関東バドミントン連盟をはじめとする関係者の皆様に深く感謝を申し上げまして、歓迎のことばといたします。

第23回関東小学生オープンバドミントン大会開催要項

１．主　　催　　関東バドミントン連盟　　関東小学生バドミントン連盟

２．主　　管　　茨城県バドミントン協会　　茨城県小学生バドミントン連盟

３．後　　援　　日本小学生バドミントン連盟　（公財）茨城県スポーツ協会
水戸市　水戸市教育委員会　水戸市スポーツ協会　茨城新聞

４．協　　賛　　ヨネックス株式会社　ミズノ株式会社　株式会社ゴーセン　茨城トヨペット株式会社
パナソニックホームズ株式会社茨城支社　株式会社VICTOR　SPORTS
有限会社ラケットショップ　スウィング

５．期　　日　　**11月 12日（土）**
９：００ 受付
１０：００男女団体戦

11月13日（日）
９：３０ 男女団体戦

６．会　　場　　リリーアリーナMITO（青柳公園市民体育館）
住所. 〒310-0005 茨城県水戸市水府町864-6. TEL. 029-225-6931.

７．種　　目　　男女別都道県対抗戦（複－１、単－２）

８．競技規則　　令和4年度(公財)日本バドミントン協会競技規則、
大会運営規程及び同公認審判員規程による。

９．競技方法　　（１）男女都道県対抗戦
（２）１複２単団体戦とする（複１　単１　単２の順で行う。）
（３）１対抗戦内で、選手は単・複を兼ねることは出来ない。
（４）チーム編成は、監督１名・コーチ１名、選手４～６名とする。
（５）予選リーグは打ち切ることはせず３試合行う。
(勝敗決定後の試合は相手チームの承諾なしにメンバー変更可)

10. 使用用器具　　（公財）日本バドミントン協会検定・審査合格用器具及び検定合格水鳥球を使用。

11. 参加資格　　(1)関東１都７県の小学生であること。
(2)　(1)の他、関東小学生バドミントン連盟に推薦された都道県の小学生である。
(3)都道県バドミントン小学生連盟会長が参加を承認し構成されたチームであること。
(4)2022年度（公財）日本バドミントン協会登録済の者で構成されたチーム。
(5)関東１都７県は男女各１チームとする。但し、招待チームが揃わない時に、
開催県は男女各１チームを追加する事ができる。
また関東小学生バドミントン連盟の推薦チームも参加できる。
(6)監督・コーチは都道県バドミントン連盟会長が委嘱した指導者（成人）とし
(公財)日本バドミントン協会登録者であること。
(7)負傷、疾病等による選手の変更は、必ず大会事務局へメール連絡し承諾をとる。
電話や口頭のみ変更は無効となる。また大会中の場合は本部へ確認のこと。
出場選手及び関係者にコロナ感染疑いが発覚した場合は速やかに大会事務局へ

連絡する。その場合主催者判断で参加中止となることも了承下さい。

12. 参 加 費　　１チーム ３０，０００円

振込期限　　**10月1日**

振込口座　　**常陽銀行 下館支店　　普通　№.2234917**

茨城県小学生バドミントン連盟

※都道県名で振込。振込証を領収書として下さい。

13. 申込方法　　申込用紙により、下記　茨城小連　事務局アドレスへ申し込むこと。

申込はメールのみ。コロナ対策により郵送での事務処理はしません。

申込用紙等は、茨城県小学生バドミントン連盟ＨＰからもダウンロード可能。

申込用紙データは、エクセル形式にて提出下さい。

(申込の際、氏名誤りの無いようご注意下さい)

申込期限　　**2022年10月1日**

申込　茨城県小学生バドミントン連盟事務局

メールアドレス： ibarakirenmeibado55@yahoo.co.jp

14. 表　彰　　男女共上位３位まで表彰する。

15. 組 合 せ　　大会主催者に一任とする。

16. 監督会議　　開催日両日会場にて連絡します。

17. 宿泊・弁当　　別紙宿泊要項により申し込むこと。（各チーム単位でお願い致します。）

18. その他　　(1)大会ウェアーは（公財）日本バドミントン協会審査合格品とする。

関東Ｔシャツの着用は認めます。

(2)上衣の背中中央部に、横２５ｃｍ、縦１５～２０ｃｍの範囲内に都道県名・名前を表示し、識別できる色を使うこと。なお、文字の表示は（公財）日本バドミントン協会大会運営規程第２４条を適用すること。

(3)大会中特に試合中のケガ等は、主催者において応急処置は行うが、その後は参加者の責任で対応する（スポーツ任意保険加入必須)

(4)申込用紙に記載された個人情報等は、原則本大会運営のみに使用。

但し、組合せ及び大会成績入賞者情報、大会中の写真等は、広報として茨城県小学生バドミントン連盟ホームページへ掲載されることを了承下さい。

掲載等情報開示を望まない場合は申込時に、県小連を通してメール下さい。

(6)コロナ感染防止含大会注意事項(別紙)を周知熟読頂き、ご協力下さい。

開催日会場では必ず「いばらきアマビエちゃん」登録をお願いします。

(7)大会は入場制限は無し。

監督コーチ選手・保護者は大会当日、検温様式一週間記録記載した票を受付に提出ください。一般(家族関係者)入場も可能です。 監督コーチ選手・保護者同様に一週間検温受付に提出ください。チェック票(別紙)を入口で提出。確認をされてから入場となります。

19. 大会事務局　　茨城県小学生バドミントン連盟事務局

日向晴美　　090-5779-3035

大 会 役 員

大会名誉会長	加藤寛治			
大会会長	増田英男			
大会副会長	有瀬浩一	別井晃	千葉健夫	白倉一民
	新木恵一	関俊夫		
大会顧問	浅岡武	磯井貞夫	近藤勇司	椙山松良
大会委員長	能登則男			
大会委員長	松下高輝	兒島昇	小山義夫	大澤桂一
	小林幹夫	金子寛		
大会委員	木内広史	木村和夫	館野政男	大島正志
	重田英男	久保田一浩	森田真史	藤松津吉
	中村新一	石橋康幸	五十嵐功	落合久男
	殿川宣勝	中山宗彦	丸山哲	齋藤ひとみ
	永田克美	稲石一雄	関根忠	小野理
	関根冬蔵	中山廣明	石黒次男	佐倉和明
	松崎明彦	田崎真光	高野貞男	上田敏之
	三森雅美	津田文子	木下和代	田中早苗
	飯田武司	慶野誠	高崎道治	椎名修
	幡谷定俊	早川博	家田浩司	緒方和也
	神永春美	安藤芳正	飯塚尊	長澤靖
	屋代広子	近藤孝幸	工藤奈菜	淀縄将人
	大関拓也	有永三洋	芳賀一真	桃井雅和
	黒澤紀久	小野間徹	関本昌和	小口弘之
	羽生美恵	山口清	河村拓己	

競技役員

レフェリー	新井博司			
総務部長	椎名　修			
総務役員	佐藤英男	日向晴美	小峯岳央	益子友美
	海老澤孝一	仁田健太郎	淀　幸	
総務委員	海老澤晃子	菜花麻由	鈴木美奈子	大串美紀子
競技審判部長	中村資良			
競技審判副部長	千代和広			
競技記録役員	浦野昌士	荒川　功	日向貴裕	
競技役員	平松光子	永井弥生	荒川千代子	
	佐藤章子	国府田千春	池田美香	
審判委員	大津嘉弘	大和田幸二	小茂田かおり	
シャトル	西田由紀			
撮影	瀬谷直行			
招集	飯田恒夫	江尻享一		
救護	鎌田雅幸			
審判員	梶間　誠	原野雄一	小池尚生	海老原隆司
	石川智大	矢野由香	平野樹帆子	高星貴志
	郡司友梨江	小林　香	酒出美雪	黒山都喜子
	豊田佳美	星　美紀	大和田瑠美	菅谷裕一
	市村あや	烏川由季子	武石沙知子	野原　純
	池松美紀	御領見知子	原田知子	永原絵梨加
	田中健大	十文字篤史	田上ゆきな	田添雅士
	小松夏保里	遠峰竜也	副島直樹	生駒純子
	橋口身和子	重實悦子	吉川ゆかり	小崎麻生
	中山圭一	宮下和香子	青柳暁典	坂﨑裕美
	猪野陽介	小池　智	米澤岳洋	松浦大輔
	森　彩	前田すみれ	佐藤真弓	岡田　毅
	綿引悠貴	雨宮佳代	譜久村良之	佐々木和之
	山本敏弘	山﨑睦美	小山華緒里	清水桂太
	下平　学	石田英生	橋本雄一	福地克仁
	田口哲也	上杉聡洋	寺田　健	土井基嗣
	青木和也	樋口敬一	冨山秀人	鈴木洋之
	稲葉祐也	富張伸五	峯本　恵	髙松歩美
	川俣智美	小池絵美	山中沙穂	古澤弥生
	是則春香	猪瀬由紀	稲葉隆文	清水　誠
	冨田泰利	高橋美由紀	中川敬介	

第２３回　関東小学生オープンバドミントン大会

競　技　上　の　注　意

1　本大会は、2022 年度(公財)日本バドミントン協会競技規則、大会運営規定、公認審判員規程により行います。
2　予選リーグは、４チームのブロック戦とし、各ブロックの１~４位がそれぞれの順位リーグに進んでリーグ戦を行います。
3　一対抗戦は、複・単・単の順にすべて行います。また、一対抗戦を進行上２コートで並行して行うことがあります。
4　選手団は、会場に到着したら必ず受付をすませてください。
5　監督、コーチ、選手の変更は監督会議をもって最終のものとし、以後の変更は認めません。
6　オーダー用紙は監督会議に配布いたします。提出のコールがありましたら、直ちに本部オーダー提出所へ提出してください。
7　ベンチに入れるのは、登録した監督・コーチ・選手のみです。ベンチの監督・コーチ席は２脚設置いたします。(監督・コーチ席に入れるのは、監督・コーチのみです)
8　試合開始前の練習は、対戦チームとあいさつ後、主審の指示に従い若番チームより３分間とします。なお、最初から２コート以上で試合を開始する場合は、両チーム同時に３分間とします。
9　コートサイドへのカゴは置きません。ラケットバックにタオル、給水用具等を入れてお持ちください。
10　試合進行の状況に応じて、試合開始時刻およびコートを変更することがあります。また、試合が連続する場合は、原則として 15 分の間隔をあけます。
11　選手は、マッチ(試合)終了後、選手同士並びに主審との握手はしないでください。
12　試合終了後、ベンチ・コーチ席をチーム毎に責任を持って消毒をお願いします。
13　一対抗戦が終了後、相手チームとあいさつをし、勝利チームから退場してください。

審　判　上　の　注　意

1　審判団の編成は、主審・線審とします。サービスジャッジは原則としてつけません。得点掲示は両チームより交互にお願いします。
2　各マッチ(試合)のインターバルは次のとおりとします。
　①　すべてのゲームに、一方のサイドのスコアが 11 点に達したとき、60 秒を超えないインターバルを認めます。
　②　ゲームとゲームの間に 120 秒を超えないインターバルを認めます。
　　※インターバルが終わっても、選手がコートに入らない場合は、フォルトになります。

3、インターバルにおいて、アドバイスをする場合は、競技区域内で次のとおりとします。監督・コーチどちらのサイドも２人まではコートに入ることができます。この場合は、主審が「第〇コート 20 秒」とコールしたら、コートを離れるものとします。

4　マッチ（試合中）、選手の汗拭きや水分補給は原則としてインターバルのみとします。どうしても、必要な時は、必ず主審の許可を得てください。

※容器は倒れてもこぼれないスクイーズボトル等（プッシュブルキャップ）を使用しコートサイドのラケットバッグに入れてください。ベンチに行っての水分補給は禁止します。

5　インプレーでない時のアドバイスは許されますが、マナーに心掛けてください。

6　主審が認めた以外の中断は一切認めません。

7　次のような違反行為に対しては、厳正に対処します。(「警告」、「フォルト」限度を超えた場合は「失格」)

① 体力や息切れの回復等、プレー中の中断や遅延行為に関わる行為
② インプレーでのアドバイス
③ 主審の許可なくコートを離れる行為
④ 故意にシャトルに手を加えたり破損したりする行為
⑤ 相手に対して下品で無礼あるいは不適切な態度、言動
⑥ 競技規則を越えた不品行または不快な行動

8　試合中の服装は、白または（公財）日本バドミントン協会審査合格品とし、上衣背中中央にゼッケンをつけてください。ゼッケンには上段に、都道府県名、下段に個人名（フルネーム）を記載してください。なお、背面にチーム名の入った上衣の場合は必ずゼッケンで隠すようにしてください。

9　試合中のけがや病気に対してコートに入ることが許されるのは、競技役員長が医療役員やその他の人をコートに呼ぶ必要があるかどうか判断をし、認められた人のみです。

10　「抗議」、「異議」は一切認めません。審判員の判定に対して疑問のある場合には、次のサービスがなされる前に当該選手と監督に限り質問することが認められます。

11　シャトルは試打してありますので選択は認めません。また、シャトルの交換については、主審の指示に従ってください。

12　シャトル交換は主審から受け取ってください。

リーグ戦の順位の決め方

① 勝ち対抗戦数による
② ①が同数の場合、得マッチ総数（勝ち試合数）
③ ①②が同じ場合、得失ゲーム総数（得ゲーム総数－失ゲーム総数）による。
④ ①②③も同じ場合、得ポイント率「得ポイント総数/（得ポイント+失ポイント総数）による。
⑤ なお同じ場合、直接対決の勝ちチームを上位とする。
⑥ ⑤で決着がつかいない場合は、抽選とする。

一　般　上　の　注　意

1　検温は８時から会場入口前で行います。
2　選手、監督・コーチ・保護者及び大会スタッフは会場入場時に検温を行います。
　選手 37.5 度、大人 37.0 度以上の場合、再検温を実施します。
　（再検温は違う測定器で実施）
　再検温でも上記以上の体温の場合は入場を禁止します。
　※保護者の検温は全チームの選手、監督・コーチ終了後に行います。
3　体育館の開場は８時 30 分です。
　11/12 受付時に、監督コーチ選手・保護者の一週間の検温票を提出下さい。
　一般(家族関係者)入場も可能ですが、監督コーチ選手・保護者同様に一週間の検温チェック票(別紙)を入り口で提出。確認をされてから入場となります。
　11/13 は、監督・コーチ・選手・保護者・一般の方、すべて
　検温チェックのみで入場となります。
4　競技場内は、土足禁止となっています。
　正面入口より入場し、入口で上履きに履きかえてください。
　体育館の下駄箱は使用できませんので、各自保管してください。
5　観覧席は、都道県単位で場所を指定させていただきます。マナーを守ってご利用願います。
6　敷地内および体育館内は禁煙です。
7　参加選手、監督・コーチ、関係者は不織布マスクの着用をお願い致します。
　(ベンチ内も含む)
8　フラッシュを使用した写真撮影はプレーの妨げになりますので禁止いたします。
9　各自のゴミについては、必ず持ち帰ってください。
　お弁当等の空き箱は、注文した業者より指示された方法で返却してください。
　決められた時刻を過ぎた場合は、各自お持ち帰り願います。
10　体育館でのコンセントの使用は、一切禁止です。
11　置き引き、盗難事故が多発しております。盗難等がおこらないよう貴重品については、各個人の責任において管理してください。

第２３回関東小学生オープンバドミントン大会

式　次　第

開会式　令和４年 11 月１２日（土）　９：３０～

１	開会宣言	茨城県小学生バドミントン連盟	理事長	椎名　修
２	あいさつ	関東バドミントン連盟	会　長	加藤　寛治
		関東小学生バドミントン連盟	会　長	増田　英男
		茨城県小学生バドミントン連盟	会　長	松下　高輝
３	来賓紹介			
４	競技・審判上の注意		競技役員長	新井　博司
５	選手宣言	茨城県男子代表　ハルトノクラブ		宮下　桧
		茨城県女子代表　恋南		中泉　琉花

閉会式　令和４年 11 月１３日（日）　競技終了後

１	成績発表		レフェリー	新井　博司
２	表　　彰	関東小学生バドミントン連盟	会　長	増田　英男
３	あいさつ	関東バドミントン連盟	会　長	加藤　寛治
４	閉会宣言	茨城県小学生バドミントン連盟	理事長	椎名　修